

巻頭言

平成26年度診療報酬改定を終えて

さる、2月12日の中医協の答申を受け、事実上平成26年度診療報酬改定が終わった。今回の改定において、精神・療養病棟における病棟薬剤業務実施加算については紆余曲折あったが、最終的には算定期間の12週まで延長を要望し、結果はみなさんご承知の通りである。実質マイナス改定の厳しい状況下で薬剤師関連項目が8週へ延長になったことは画期的なことではあるが、精神科の薬剤師にとっては、なぜ8週なのかという疑問が残る結果ともなり、その評価は分かれるであろう。しかし、前進と思える結果が出せたことは中医協の三浦委員、日本病院薬剤師会の執行部、事務局をはじめ多くの方々のご努力とお力添えがあったことは言うまでもなく、何度お礼を言っても足りないくらいである。

今回の中医協での議論は、財源に限りがある中で、精神・療養病棟の患者さんに対して長い入院期間中における薬剤師の業務を評価し続ける必要性の有無、また病棟薬剤業務は急性期の患者さんをサポートするという趣旨でスタートしたのであり、精神・療養病棟においても4週もすれば症状は安定するのではないか、そして何より12週の必要性がエビデンスとして示されていないという点であった。

このエビデンスについては、今回の改定の折に提示が求められることは予想されており、前回の改定後すぐに日本病院薬剤師会精神科病院委員会が中心となり、調査を行っていた。しかし、中医協委員、特に支払者側の委員を納得させるだけのエビデンス結果を出すことができなかった。その一方で、厚生労働省が行った検証調査においては薬剤師の病棟配置の必要性やその効果について一般科と同等の評価が得られており、この評価が今回の算定期間緩和に繋がったのであろう。

今回の付帯意見として、次回改定時までには再度検証されることが明記された。これは再度私たちにチャンスが与えられたものとする。しかし、その一方で実績がなければ取り消されることを意味する。次回の診療報酬改訂までに私たちは何をすべきなのか？それは病棟薬剤業務を実践し、医療の質と患者満足度の向上、そして医療費削減にいかに関与できたかを証明することである。2年後に向かって前進あるのみである。

副代表世話人 天正 雅美

PCP研究会版アドヒアランス調査票作成のための調査協力をお願い

平素はPCP研究会の運営にご協力いただきありがとうございます。

当研究会では、3年前より、新たなアドヒアランスの調査票を作成するための調査・研究を進めてまいりました。

今回、臨床現場で使用しやすい10項目から20項目のアドヒアランス調査票を作成するために、全国のPCP研究会会員の皆様のご施設におきましてもご協力をお願いいたします。

調査の概要およびエントリーについては、精神科臨床薬学研究会(PCP研究会)のホームページ <http://www.pcp-rg.org/> をご参照下さい。調査期間は平成26年5月1日より6月30日(エントリー締め切り4月30日)となります。

ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

代表世話人 吉尾 隆

2013年度下期の活動状況

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

ブロック	開催地	開催日	特別講演	症例検討	追加プログラム 病院紹介/ショートレクチャー	参加人数	
北海道	札幌	11月16日	北海道大学 仲唐 安哉	北海道大学 仲唐 安哉	林病院 林 昂子	27	
東北	仙台	12月8日	国見台病院 小田 康彦	国見台病院 小田 康彦	未来の風せいわ病院 高屋敷 一也	49	
関東・ 甲信越	東京	3月9日	東海大学医学部 松本 英夫	湘南東部総合病院 鈴木 徹士	曾我病院 山口 隆之	横浜市立大学附属 市民総合医療センター 坂本 修	56
	大宮	2月16日	順天堂大学附属 順天堂越谷病院 安宅 勇人	みさと協立病院 牛尾 幸子	新潟信愛病院 岩倉 潔	19	
	千葉	1月26日	東京慈恵会医科大学 柏病院 忽滑谷 和孝	日本医科大学 千葉北総病院 下田 健吾	—	16	
東海	名古屋	3月23日	名古屋大学医学部 附属病院 木村 宏之	名古屋大学医学部 附属病院 木村 宏之	刈谷病院 齋藤 玲子	38	
北陸	金沢	3月2日	桜ヶ丘病院 岩崎 真三	富山県立中央病院 米澤 峰男	ときわ病院 中本 理和	34	
近畿	大阪	1月26日	関西医科大学 片上 哲也	関西医科大学 片上 哲也	—	37	
	大阪	2月23日	関西医科大学 片上 哲也	関西医科大学 片上 哲也	—	66	
中国・ 四国	広島	3月9日	国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 竹林 実	草津病院 宇治 宏美	広島市民病院 和田 健	三次病院 山下 千恵子	24
	徳島	2月2日	徳島大学大学院 大森 哲郎	徳島県立中央病院 中川 由貴	徳島県立中央病院 中川 由貴	19	
九州	福岡	3月2日	九州大学病院 本村 啓介	久留米大学 比江嶋 啓至	鮫島病院 石橋 福美	久留米大学 比江嶋 啓至	95
	沖縄	3月16日	とくだ心療内科 徳田 毅	みえばしクリニック 長崎 文江	東邦大学 吉尾 隆	15	

ブロック講演会に関するお知らせ

PCP研究会が実施している全国ブロック講演会が、このたび日本病院薬剤師会の「認定講習会」に認定されました。これにより、これまで各ブロックによってまちまちであった認定取得などの問題が、全て解消される事になりました。全ての垣根がなくなりましたので、是非皆さま、全国全ブロックの講演会へ参加してみませんか？

PCP事務局より



2013年度全国処方調査中間報告 調査委員会

昨年10/31に実施した処方調査では、全国133施設より、総計18,754症例の貴重なデータをご提供頂きました。業務繁多にもかかわらず調査にご協力頂きました先生方、本当にありがとうございました。

【調査背景】 参加施設数：133施設 データ数：18,754症例 平均年齢：58.2歳

【集計結果】	平均処方剤数	平均投与量 ± 標準偏差	単剤処方率
抗精神病薬	1.9 ± 1.1剤	781.3 ± 666.3mg (CP換算)	37.0%
抗パーキンソン薬	0.6 ± 0.7剤	1.5 ± 2.1mg (BP換算)	
抗不安薬・睡眠薬	1.5 ± 1.1剤	12.9 ± 16.8mg (DAP換算)	

【発表予定】 本年6/26～28、横浜で開催される第110回日本精神神経学会学術総会において、2演題発表いたします。今回は、全体としての処方実態、および第2世代抗精神病薬の処方動向について、報告する予定です。1人でも多くの先生方にご参加いただき、発表の興奮をライブで味わっていただければと思います。

東海ブロック世話人 宇野 準二

みんなねっと大阪

平成25年度は9月9日、10日に大阪で開催されました。大阪府病院薬剤師会の精神科病院委員会の先生と担当させていただきました。9日は1日、10日はお昼まででしたが、お昼休みが取れないくらい盛況で、計74名から相談をお受けしました。アンケートによると、相談者の約8割はご家族で、患者様の病名はほとんどが統合失調症でした。薬の専門家として薬剤師に期待しているとの意見が多く寄せられました。

今年の2月1日に京都で開催された日本病院薬剤師会近畿学術大会で『みんなねっと(全国精神保健福祉家族大会)大阪大会での「精神科薬剤師によるおくすり相談室」を振り返って』の演題で委員会からポスター発表しました。

相談に来られたほとんどの方々が、「ありがとう」と笑顔で帰られたことに心地よい疲れと充実感を感じた2日間でした。

近畿ブロック世話人 本多 智子



論文が掲載されます！

今回、2010年と2011年の処方調査の結果から、リスペリドン持効性注射製剤上市後の持効性注射製剤の処方動向について検討を行いました。その結果、現状では持効性注射製剤の処方率は低く、薬理学的特性や利点を考慮した適正な使用は極めて少ないことがわかりました。

論文作成にあたっては、吉尾隆先生をはじめ多くの先生方にご指導いただきました。大変時間を要しましたが、まもなく臨床精神薬理誌に掲載される予定です。大規模調査を通じて、新たな知見や情報を発信していくことは、PCP研究会の重要な活動の一つですので、会員の先生方から得られた貴重なデータを大切に取扱い、精一杯取り組みました。処方調査にご協力いただきました全国の先生方に改めて深謝いたします。

九州ブロック世話人 柴田 木綿

精神症状評価尺度トレーニングDVD貸し出しのご案内(再々)

これまでのNewsletterでもお知らせしていますが、社団法人日本精神科評価尺度研究会監修トレーニングDVDの貸し出しを引き続き行っています(以下、3種類)。ご希望の方は、PCP事務局までご連絡をお願いいたします。

- ・日本語版MADRSTレーンングDVD(評価対象：うつ病)
- ・日本語版HAM-DトレーニングDVD(評価対象：うつ病)
- ・日本語版YMRSトレーニングDVD(評価対象：躁病エピソード)

貸し出し手数料(郵送代含む)：500円/1枚につき



中国・四国ブロック世話人 北川 航平

2014年度上期ブロック講演会開催(予定)のご案内

ブロック	場 所	開 催 日	会 場
北海道	札 幌	6月15日(日)	(検討中)
東 北	仙 台	6月15日(日)	アゼリアヒルズ17F・アゼリアホール
関東・甲信越	東 京	10月 5日(日)	秋葉原UDX
	千 葉	7月 6日(日)	(検討中)
	大 宮	6月15日(日)	ホテルプリランテ武蔵野
東 海	名古屋	7月13日(日)または20日(日) または27日(日)	(検討中)
北 陸	金 沢	8月10日(日)	石川県地場産業振興センター
近 畿	大 阪	8月 3日(日)	梅田スカイビル
中国・四国	米 子	9月13日(土)	米子コンベンションセンター BiG SHiP
	松 山	9月7日(日)または14日(日)	(検討中)
九 州	福 岡	8月17日(日)	(検討中)
	沖 縄	(検討中)	(検討中)

※開催日および会場は、都合により変更となる場合がありますので、詳細はPCP研究会ホームページの活動状況欄をご覧ください。



事務局 掲示板

■2014年度会費(2014年4月～2015年3月分、年会費：2000円)

年会費のお支払いは、ご出席の講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】口座名：精神科臨床薬学研究会 口座番号：00170-2-578959

*通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。
(会員番号は、Newsletterの封筒の宛名シールに記載されています。)

■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ
<www.pcp-rg.org>に掲載しております。

■特別講演DVD「気分障害(大うつ病)における病態・診断・治療」

2013年度下期講演会を欠席された会員の皆さまにDVDを貸出しております。
希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバー(演題はホームページに掲載)の貸出しも受け付けております。

■事務局連絡先

〒104-0033 東京都中央区新川1-2-8 第5山京ビル6階 株式会社ネオファルマ 内
E-mail: contact@pcp-rg.org (メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。)
FAX: 03-5540-3011 URL: <http://www.pcp-rg.org/>

【編集後記】

先日、子供とプリキュアの映画を観に行きました。思わずウツときてしまい、不覚にも頬を伝う涙を、隣で観ている子供と家内に気付かれぬよう、そっとハンカチで拭きました。先輩・後輩、力合せて悪に立ち向かうオールスターズに心打たれました(K.K.)。

